
開講科目名：行政法研究 (2単位)
開設年次：1年 2年 3年 4年
開設学部：法学研究科修士課程法学専攻
担当者：門脇 美恵

《授業の概要》

【授業の概要】

わが国において行政活動は「法律による行政の原理」に従い適法に行われるのが原則です。しかし、現実にはときに違法または不当な行政活動等によって、または適法な行政活動によっても、私たちの権利利益が侵害され、適正な行政運営が損なわれることがあります。そのような場合に国民の権利利益の保護と適正な行政運営を確保するための法は「行政救済法」と総称され、行政法体系のなかで重要な部分を構成します。この授業では、この行政救済法を学びます。

授業ではまず、行政法の基本原則に立ち戻った上で、行政救済法の存在意義を確認し、次に行政救済法の体系を判例を参照しながら学ぶことで、行政救済法の全体像とこれを構成する法制の基本知識を身に付けることを目標とします。

【質問への対応】

授業時間内またはオフィスアワーにおいて対応します。

【授業計画】

- 1 行政法の基本原則、行政法の体系と行政救済法の意義
- 2 国家賠償法制の歴史
- 3 国家賠償法1条(1)「公権力の行使」
- 4 国家賠償法1条(2)「公務員」「職務」
- 5 国家賠償法1条(3)「過失」「違法」
- 6 国家賠償法2条(1)「公の営造物」
- 7 国家賠償法2条(2)「設置又は管理」の「瑕疵」
- 8 確認テスト
- 9 行政不服申し立て(1)制度の目的と特徴
- 10 行政不服申し立て(2)審理の種類とプロセス
- 11 行政事件訴訟(1)制度の目的と特徴
- 12 行政事件訴訟(2)訴訟の種類とプロセス
- 13 行政事件訴訟(3)原告適格
- 14 損失補償
- 15 確認テスト

＊予習・復習について

この授業では行政救済法を中心に学ぶので、行政法総論の基本知識については、予め以下に掲げる参考書等を用いて予習をして下さい。授業後には、授業で用いたプリント等を見返しながら、適宜参考書等で興味をもった論点について学習を深めて下さい。各授業の予習・復習に要する時間は、予習1.5時間、復習1時間を目安とします。

【評価方法】

確認テスト (80%) およびレポート (20%)

《テキスト》

授業は配布プリントに基づき進めます。テキストは指定しませんが、必要に応じて下記参考書から自分のレベルにあったものを選んで学習を深めることをお勧めします。

《参考書》

【基本書】

初級

- ・石川敏行ほか『はじめての行政法【第3版補訂版】』（有斐閣、2014年）

中級～

- ・市橋克哉ほか『アクチュアル行政法【第2版】』（法律文化社、2015年）

【判例】

(初級)

- ・『法律入門 判例まんが本 行政法の判例100』（辰巳法律研究所、2008年）

(中級～)

- 『行政判例百選1・2(第7版)』（有斐閣、2017年）